

PIDJ2

News letter No9

年次報告とは??

2025年の年次報告は、1月1日～12月31日の期間の患者さんの状態を入力対象データとしております。

日々の診察



治療の過程



レジストリデータは、日々の患者さんの治療の経過を経時的に記録することで、疾患の経過を数年単位で把握することができる研究となります。

何気ない治療の過程の記録を、様々な患者さんで記録していくことにより、疾患固有の傾向などを把握し、集約することで、成果物として収穫（研究）することができます。

治療のデータ



これらの集積されたデータを集め、分析、解析を行うことにより、患者さんの治療方法の確立（エビデンスの構築）、治療薬の開発（海外承認に治療薬の導入）など、日々の診察に役立つものとして、未来の先生方、患者さんに還元されるものとなります。

患者さんの治療の糧



データ入力で大切なポイントは、コメの銘柄になる**診断名!!**

正しく分類できるように「原発性免疫不全症」 = コメ ではなく、**産地（どこの病院）の何米（IEI疾患分類→さらに詳細な疾患名）**を入力することで、よりよく役立てることができるようになります。

耳寄り情報



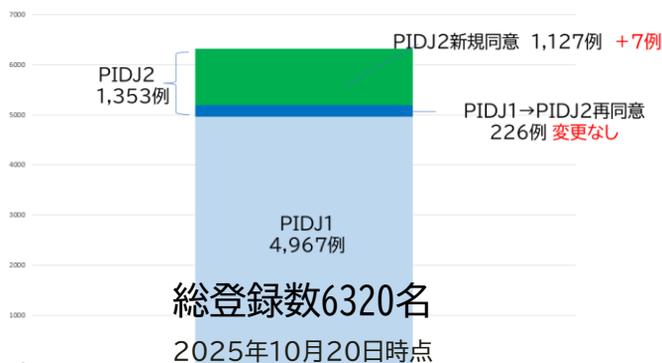
12月より、**代行入力**を事務局で開始いたします。**利用する費用はかかりません。**先生方の入力の軽減に繋がればと準備しております。代行入力の依頼方法については、**次回のニュースレター**でご案内いたします。

<免疫グロブリン使用に関するアンケート>

皆様、ご協力ありがとうございました。ご協力いただきました、アンケートの結果（免疫グロブリンの使用状況）につきましては、2月に開催される学術集会で発表予定です。136名の先生方のご協力に感謝いたします。



Thank you



患者さんが転院した際は、**転院届**をお忘れなくお願いいたします。

<未解析NGSデータの二次利用研究 進捗>



<PIDJ2に関するお問い合わせ/各種情報>

お問合せは「PIDJ2共同研究施設およびJSIAD連携施設用サイト」の問い合わせフォームからお願いいたします。各種情報は「PIDJ2共同研究施設およびJSIAD連携施設用サイト」に掲載しております。

